

第51回コスモス祭参加

け ま なん ぼく
食満南北が
描いた歌舞伎

～古典芸能研究センター所蔵資料から～

日時：2019年11月9日（土）・10日（日）

10：00～16：00

教室：A402・A403(須磨キャンパス)

主催：神戸女子大学古典芸能研究センター

三宮キャンパスにある古典芸能研究センターには貴重な古典芸能関係の資料がたくさん所蔵されています。

今回は、その中から、明治・大正・昭和と大阪の劇壇・文壇で活躍した食満南北が描いた歌舞伎の絵21点を展示します。また、歌舞伎の入門書や写真集など、関連図書も紹介します。本は自由に手に取ってご覧いただけますので、ぜひ歌舞伎の世界を身近に感じる機会として下さい。

右の三図は、食満南北が描いた「勸進帳」の一場面です。三本の軸からなっていますが、中央が弁慶、右が富樫、左が義経です。

富樫の求めに応じて弁慶が南都大仏殿再興の為の勸進帳（実際は別の巻物を勸進帳と偽っている）を読み上げている場面を描いています。勸進帳を覗こうとする富樫、富樫の動きを気にしながら勸進帳を読む弁慶、うずくまり笠で顔を隠しながら弁慶と富樫のやり取りを聞く義経、緊張感あふれる三者の姿が表現されています。

